



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 株式会社 情報企画 上場取引所 東
コード番号 3712 URL <https://www.jyohokikaku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 利仁
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 緒方 一生 TEL 03-3511-8371
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,147	17.1	1,228	17.5	1,235	18.0	880	21.4
2025年9月期第3四半期	2,688	7.4	1,044	13.4	1,046	11.3	725	10.9

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 880百万円 (21.4%) 2025年9月期第3四半期 725百万円 (11.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	58.22	—
2025年9月期第3四半期	47.95	—

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	8,854	7,469	84.4
2025年9月期	8,416	6,951	82.6

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 7,469百万円 2025年9月期 6,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	55.00	—	60.00	115.00
2026年9月期	—	60.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	12.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年9月期（予想）の期末の1株当たり配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載し、年間配当金は「—」と記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年9月期（予想）の期末の1株当たり配当金は60円、年間配当金は120円となります。

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円 4,100	% 6.7	百万円 1,540	% 0.2	百万円 1,540	% 0.1	百万円 1,100	% 2.1	円 銭 72.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年9月期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は363円65銭となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	20,450,000株	2025年9月期	20,450,000株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	5,325,420株	2025年9月期	5,325,305株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	15,124,586株	2025年9月期3Q	15,124,710株

（注）当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年10月1日から2026年6月30日の9ヶ月間）におけるわが国経済については、中東情勢の影響には注視する必要があるものの、個人消費や設備投資は改善しており、景気は緩やかに回復しております。当社グループの主要な販売先である金融機関は、日銀の政策金利引き上げを受けて貸出金利の引き上げを進めており、物価高や人手不足に伴う貸出先の倒産増加懸念はあるものの足元の業況は好調で、当社グループの受注活動も順調に進んでおります。

当社グループの業況につきましては、システム開発に係る「システムインテグレーション部門」とシステムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」からなる「システム事業」は前年同期比増収増益となりました。「不動産賃貸事業」についても前年同期比増収増益となっています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,147,429千円（前年同期比17.1%増）、営業利益は1,228,077千円（同17.5%増）、経常利益は1,235,295千円（同18.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は880,510千円（同21.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要システムである「担保不動産評価管理システム」は大手金融機関や地方銀行向けの受注が堅調で増収、「総合決算書リーディングシステム」は地方銀行、大手信用金庫向けにリニューアル案件が増加し増収となりました。

「自己査定支援システム」はJ Aグループ向けの案件獲得により大幅増収となり、「融資稟議支援システム」も大手信用金庫からの複数案件受注により、大幅増収となっております。

システムインテグレーション部門の売上高は1,814,979千円（前年同期比24.7%増）、セグメント内の売上高構成比は61.6%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高は、システム導入が進み増収となり、システムサポート部門の売上高は1,131,324千円（前年同期比7.6%増）、セグメント内の売上高構成比は38.4%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は2,946,304千円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は1,187,127千円（同18.0%増）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション5棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗2件の計9物件を所し展開しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、賃貸収入201,125千円（前年同期比10.5%増）、セグメント利益は40,949千円（同5.9%増）となっております。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、8,854,062千円となり、前連結会計年度末に比べ437,684千円増加いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が426,583千円、現金及び預金が166,223千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が176,941千円減少したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,384,740千円となり、前連結会計年度末に比べ79,669千円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、7,469,322千円となり、前連結会計年度末に比べ517,354千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.4%（前連結会計年度末は82.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気動向につきましては、中東情勢を始め世界経済の不透明感の高まりや金融市場の変動懸念はありますが、底堅い景気回復が見込まれます。金融機関のシステム投資意欲も依然として高く、システム導入・リニューアル要望の増加が予想されます。そのため、ユーザーのニーズに応じた製品を展開することで今後の受注獲得につなげたいと考えております。

2026年9月期におきましては、売上高4,100,000千円（前年同期比6.7%増）、営業利益1,540,000千円（同0.2%増）、経常利益1,540,000千円（同0.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,100,000千円（同2.1%増）と予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847,497	3,013,721
売掛金及び契約資産	1,104,256	927,314
仕掛品	28,296	28,320
その他	47,745	25,301
流動資産合計	4,027,796	3,994,658
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,941,830	2,368,414
土地	1,959,686	1,996,528
その他（純額）	23,682	26,043
有形固定資産合計	3,925,198	4,390,986
無形固定資産		
のれん	47,886	38,908
顧客関連資産	9,494	8,476
その他	26,817	37,258
無形固定資産合計	84,198	84,643
投資その他の資産	379,183	383,774
固定資産合計	4,388,580	4,859,403
資産合計	8,416,377	8,854,062
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,148	77,758
未払法人税等	272,837	127,131
賞与引当金	120,295	69,377
製品保証引当金	3,567	1,156
その他	780,981	985,660
流動負債合計	1,305,831	1,261,083
固定負債		
役員退職慰労引当金	75,184	43,956
その他	83,393	79,700
固定負債合計	158,578	123,656
負債合計	1,464,409	1,384,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金	365,175	365,175
利益剰余金	7,856,126	8,373,645
自己株式	△1,596,280	△1,596,426
株主資本合計	6,951,646	7,469,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321	303
その他の包括利益累計額合計	321	303
純資産合計	6,951,967	7,469,322
負債純資産合計	8,416,377	8,854,062

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
売上高	2,688,948	3,147,429
売上原価	891,131	1,150,525
売上総利益	1,797,816	1,996,903
販売費及び一般管理費	752,968	768,826
営業利益	1,044,847	1,228,077
営業外収益		
受取利息	1,402	3,992
受取配当金	86	46
助成金収入	—	2,826
その他	402	353
営業外収益合計	1,891	7,217
経常利益	1,046,739	1,235,295
特別利益		
固定資産売却益	—	44,502
特別利益合計	—	44,502
税金等調整前四半期純利益	1,046,739	1,279,798
法人税、住民税及び事業税	308,024	360,086
法人税等調整額	13,493	39,202
法人税等合計	321,518	399,288
四半期純利益	725,220	880,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	725,220	880,510

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	725,220	880,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119	△17
その他の包括利益合計	119	△17
四半期包括利益	725,340	880,492
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	725,340	880,492
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	システム事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
システムインテグレーション売上	1,454,978	—	1,454,978	1,454,978
システムサポート売上	1,051,876	—	1,051,876	1,051,876
顧客との契約から生じる収益	2,506,854	—	2,506,854	2,506,854
その他の収益	—	182,093	182,093	182,093
外部顧客への売上高	2,506,854	182,093	2,688,948	2,688,948
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,506,854	182,093	2,688,948	2,688,948
セグメント利益	1,006,175	38,672	1,044,847	1,044,847

（注）1. 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	システム事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
システムインテグレーション売上	1,814,979	—	1,814,979	1,814,979
システムサポート売上	1,131,324	—	1,131,324	1,131,324
顧客との契約から生じる収益	2,946,304	—	2,946,304	2,946,304
その他の収益	—	201,125	201,125	201,125
外部顧客への売上高	2,946,304	201,125	3,147,429	3,147,429
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,946,304	201,125	3,147,429	3,147,429
セグメント利益	1,187,127	40,949	1,228,077	1,228,077

（注）1. 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	75,780千円	93,441千円
のれん償却額	8,978千円	8,978千円
顧客関連資産償却額	1,017千円	1,017千円